

六、經過概況

罷業事中、核ノテ總健在態度ヲ持ニ交渉委員会より會社側ト折衝タル外何見ク總シ父兄ノ子ヲ経テ因員復報ヲ勧説ヨリ一而罷業ト同時、監役會、闇木所商工會、於テ双方ノ事情ヲ聽取リシ之在全署表、仲裁方ヲ依頼シ以テ本縣川勝側停官ト共、兩者間ニ奔走調停、努力を結果内滿解決至シ。

七、労働者总数
八、争議参加數
九、組合加盟員数

一五六人

七一人

十、組合干渉状況

イ指導組合
ロ應援組合
ハ主ナル指導者又ハ應援者

三、公室炭坑今化

勞 動 爭 議 調 査 表

(B)

一、發生月日 大正十五年八月十一日
二、解決月日 大正十五年八月十八日
三、原因 因本年四月復全坑口夫清水義晴内線妻澄田サツ(当十九年)力全坑口夫トシテ就業中其ノ手指二本ニ負傷シタルコトアニカ炭坑側ハ之ニ對し公傷牛馬三十日分ヲ支給シ名ヲ以テ清水義晴之ヲ不法ナリトシ其ノ增額要求方ヲ労働運動者ミテ九州民憲党員クル總務課總教頭賢治(西名)、依頼シル處、兩人ニ於テ直ケニシテ承諾シ此際炭坑側、計シ之等負傷者、計スル半為其ノ他ノ增額方ヲ要求シ此ノ機會、於テ豫企畫中、炭坑夫組合但威ヲ實現セトシ八月四日全坑人奉係大坪誠(通)澄田サク外二名、公傷牛馬賃額ヲ要求シアル炭坑側ノ處置不当ナリと、監督官廳、裁断、仰ハシテ、跪ミ一触セテクル、以テ總務課教頭等、面目上此に、同盟罷業ヲ決行セシメ難破炭坑側ニ對抗セトトガ、同志糾合ニ努メ一面労働運動者仲野豊太郎、應援アリテ以テ全月十一日(西暦西川村大字入善北和田三五郎方)全志(坑夫三十名)餘集セシノ協議結果左記七名、待遇改善要求書ヲ作製シ即日炭坑側ニ提出シ尤甚炭坑側、在ウチ相手下、窮状、於テ到底如斯要求、應援コト能ヌト復、既ス、終ニ遂ニ同志約三十名同盟罷業ヲ勃起スミシ。

四、要求事項

- (1) 最低賃銀(月)五百六十アーラコト
- (2) 依頼及切符、金庫ヲ通貨ヲ以テ賃銀支拂スコト
- (3) 炭坑側ヨリ解職及賃金発給ハ二十日以上支拂スコト
- (4) 外三項

五、解決事項

要求事項全額撤廻
金五百六十
主政田三五郎支拂ス

多頭總務者、主政田三五郎支拂ス